



吹く風が冷たくなって冬の訪れを感じるようになりました。

R7. 12. 1 発行

先月から今まででくら組がやっていた当番活動を引き継ぎ、当番の数が増えました。子どもたちは、興味を持ち「やりたい」「楽しみだね」と友だちや保育者に伝えていました。当番活動はお手伝いとは少し違い、集団生活の中で自分が役割を任せられ継続的に取り組んでいくもので、集団＝小さな社会の中で過ごしていく上でとても重要な意味があるといわれています。台拭きたたみでは、文字が見えるよう畳むことを伝えると端と端を合わせて畳んだり、どうしたらいいのかわからないと一度自分で考えて保育者に確認してから行動に移す姿が見られます。保育者や友だちに「ありがとう」と言われると、グループの友だちと「ありがとうって言われたね」と喜び合う様子もありました。継続して続け、誰かのためにやることで自分の役割を知る機会になり、やらないとみんなが困るという気持ちも生まれてきます。「ありがとう」とやったことを認められることで自己肯定感も高まってきます。自己肯定感が高まると様々な場面で前向きに行動し、困難に直面しても途中であきらめず乗り越えようとする力も育まれます。当番活動を通して、できることを増やし「何でもやってみたい」「できるようになって嬉しい」という気持ちや、うまく行かない悔しさなど様々な思いを経験しながらやり遂げた喜び、人の役に立つ喜びを感じられるようにして「誰かの役に立ちたい」という気持ちを育てて行きたいと思います。

<今月のねらい>

◎ 友だちと一緒に共通の目的に向かって取り組む。

<活動内容>

散歩（紅梅公園、石川橋公園など）・集団あそび（など）

製作（クリスマス製作、グループ製作など）・コーディネーショントレーニング

体育指導・もちつき・クリスマス会・クリスマスクッキングなど



散歩ジャンパーを園でお預かりします。

安全を考慮し、フードのない物を用意してください。また記名の確認を忘れずをお願いします。

※登園時に着用しているジャンパーをそのまま着用する場合は持参の必要はありません。ただし、その場合はフードのない物、もしくはあらかじめフードを外して頂くようお願いいたします。また、登園時のジャンパーは園服かけにかけているため、首のところに紐をつけて、かけやすいようにしていただくと助かります。

11月のおたよりの「こちらからも子どもに声を掛けられるので、ご協力の程、よろしくお願い致します。」が切れてしまい、申し訳ありませんでした。

